

6月は雨の季節です

緊急時には早めの避難を!!

災害時に落ち着いて行動を取るためには、事前の備えが大切です。避難のタイミングや避難方法などを確認しておきましょう。

岡危機管理室 ☎086-803-1082

6月から、防災情報がより直感的に分かりやすいものになります（5月15日現在の情報のため一部変更がある場合があります）。

①防災情報が3段階から5段階に変わります

②避難のタイミングが明確になります

避難のタイミング

災害発生の危険性の高まりに応じて避難に関する情報が発表・発令されます。早めに避難してください。



警戒レベル1

早期注意情報 (気象庁発表)

最新の気象情報に注意し、災害への心構えをしてください。

警戒レベル2

注意報 (気象庁発表)

避難に備え、避難先や避難経路、避難のタイミングなどを再確認してください。

警戒レベル3

避難準備・ 高齢者等 避難開始

高齢者など、避難に時間を要する人（要配慮者）は、避難を開始してください。

その他の人は、立ち退き避難の準備をし、自発的に避難を始めてください。



警戒レベル4

避難勧告 避難指示(緊急)*

全員速やかに避難の行動をとってください。

*地域の状況に応じて緊急のまたは重ねて避難を促す場合などに発令



警戒レベル5

災害の発生情報
(災害の発生を把握した場合、可能な範囲で発令)

すでに災害が発生しています。いのちを守る最善の行動を取ってください。



緊張度が高まります

平素から、命を守る「もしもの備え」はできていますか？

◆家族との連絡方法・避難場所の確認などの話し合い

◆家の中の安全確保

家具の固定、出入り口や通路には物を置かないなど、日頃から家の中の安全対策を進めましょう。

◆非常時持ち出しリスト

両手の自由が利くリュックサックや燃えにくい袋などに入れてすぐに持ち出せる場所に置いておきましょう。

◆住んでいる場所の確認

お住まいの地域の特性や避難場所情報、土砂災害警戒区域の情報を、ハザードマップもしくは市ホームページ「岡山市地図情報」で確認する。

◆家庭内備蓄

災害から3日（できれば1週間）分を用意。

家族構成にあったものを準備し、一人一人が災害への備えを万全にしましょう。

食品

調理不要や簡易な調理でできるものを中心に缶詰、ドライフーズ、インスタントラーメン、切り餅、チョコレート、キャラメル、レトルト食品、アルファ化米など



水

飲料水は1人1日3リットルが目安。生活用水は風呂の水を残しておくことと利用できる



生活用品

毛布、洗面用具、トイレトペーパー、使い捨てカイロ、ビニール袋、古新聞紙、キッチン用ラップ、簡易トイレ、なべ、バケツ、ブルーシート、紙オムツなど

燃料・工具類

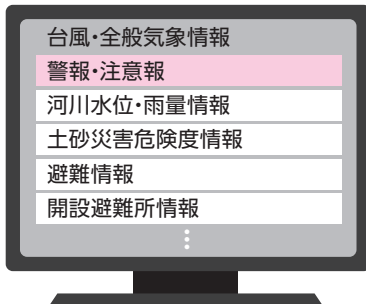
カセットコンロ、ガスボンベ、固形燃料など

災害時には「情報」が大切

テレビや携帯電話、ラジオなどから情報の入手に努めましょう。

テレビ

「おかやま防災ポータル」の情報
NHK総合岡山1
【防災・生活情報】



データ放送 (NHK)

市から発信する防災情報、避難関連情報を見ることができます。

【利用方法】NHK総合にチャンネルを合わせ、リモコンの「dボタン」を押す。

携帯電話・スマートフォン

緊急速報メール (エリアメール)

対応する携帯電話やスマートフォンへ、特定エリアごとに直接、災害・避難情報を一斉発信します。

岡山県メール配信サービス (おかやま防災情報メール)



警報や河川水位・雨量などをリアルタイムで配信しています。

【登録方法】①QRコードから空メールを送信。②登録用メールが返信されるので、案内に従って配信希望の項目を入力。

インターネット (パソコン、スマートフォン)

おかやま防災ポータル

県内の気象情報、雨量情報、土砂災害危険度情報、河川水位情報、河川カメラ情報などがリアルタイムに確認できます。避難勧告などの防災情報も発信しています。



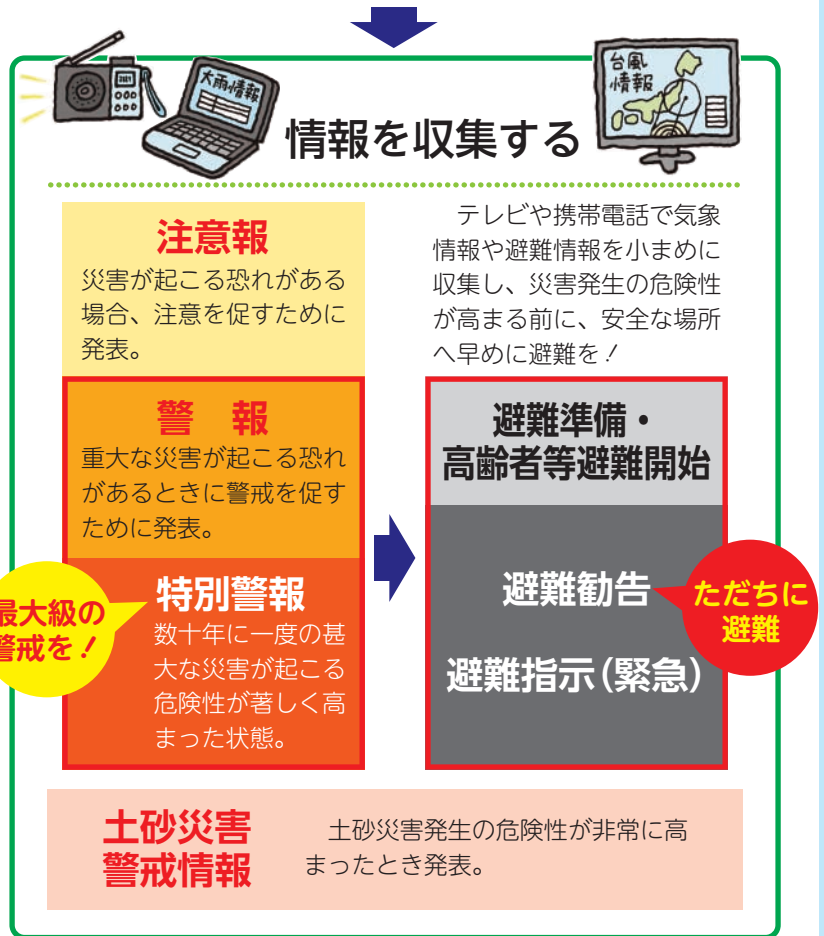
おかやま防災ポータル

ラジオ

停電時やインターネットが繋がりにくい場合、最も情報を得やすく、災害時に役立つ機能を持ったタイプもあります。

避難の流れ(台風・大雨のとき)

台風・大雨の予報



テレビや携帯電話で気象情報や避難情報を小まめに収集し、災害発生の危険性が高まる前に、安全な場所へ早めに避難を！

避難準備・高齢者等避難開始

避難勧告

ただちに避難

避難指示 (緊急)

立ち退き避難

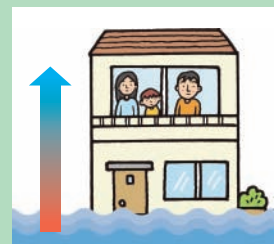
浸水区域や土砂災害警戒区域外にある安全な場所に速やかに避難しましょう。

避難勧告などが発令されていない場合でも、地域によっては危険が迫っている場合があります。発令を待たずとも、自主的に避難をしてください。

立ち退き避難以外も避難です！

屋内安全確保

土砂災害や水害の恐れがある場合、立ち退き避難が基本ですが、避難場所に行くのが危険な場合は、2階以上の山側から離れたところなど少しでも安全な場所に避難しましょう。



例えばこんなとき

- 夜間で視界が悪いとき
- 自宅周辺がすでに浸水しているとき
- 豪雨で野外移動するとさらに危険なとき など

屋外の状況や時間帯で判断し、適切な行動を！